

令和2年度 特別支援学校における障害者スポーツ推進事業

青森県教育委員会

【青森県特別支援教育推進ビジョン(H31.2)】

「障害のある児童生徒が、地域社会において、生涯を通じて教育やスポーツ、文化活動等に親しむことができるようにするため、地域人材を活用し、地域における活動を充実させるとともに、特別支援学校間のスポーツ・文化活動による交流を行い、生涯学習の基盤づくりに努める。」

【本県の県立特別支援学校の現状】

授業に障害者スポーツを積極的に取り入れるなど
スポーツの機会を積極的に設けている。

学校外に出ると…時間軸・空間軸ともにスポーツを
する機会が限られている。

生活年齢が上がるにつれて…積極的にスポーツに
取り組む者とそうでない者に二極化する傾向がある。

卒業後…スポーツに積極的に取り組む者はごく一
部である

地域のスポーツ活動への
参加及び生涯学習の
基盤づくりが必要

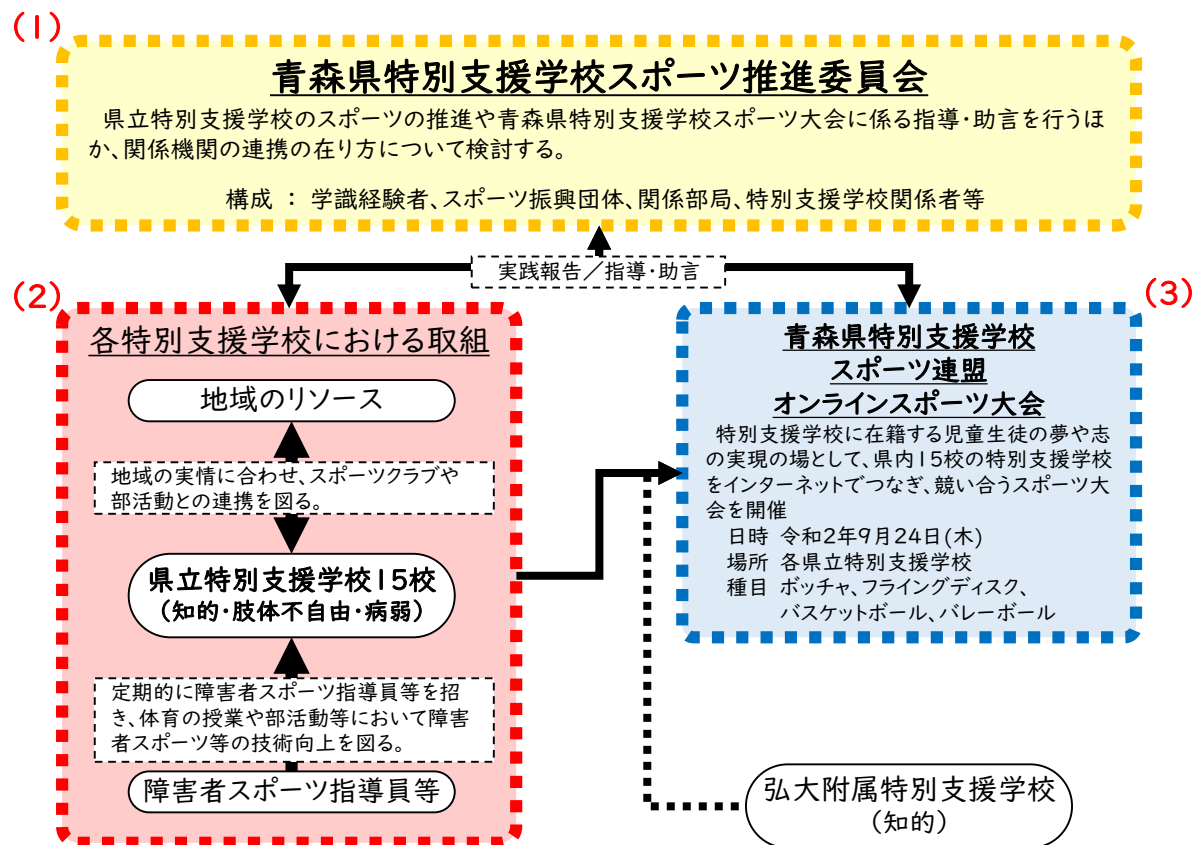


令和2年度 特別支援学校における障害者スポーツ推進事業（青森県教委）

1 目的 （令和2年度 特別支援学校における障害者スポーツ推進事業実施要項）

本事業は、障害者の継続的なスポーツの実施促進に向けて、本県における課題に対応して、(1) 障害者スポーツの振興体制の強化、(2) 身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備等を図るとともに、(3) より広く障害者が参加できるスポーツ大会を創出することを目的とする。

2 事業概要図



令和2年度 特別支援学校における障害者スポーツ推進事業（青森県教委）

【各特別支援学校における取組】

各校の取組の方向性

- ・意識的に体を動かすことや体力・運動能力の向上を目指す
- ・スポーツの楽しさを味わい、スポーツに親しむことを目指す
- ・自らスポーツに関わろうとする態度の育成
- ・健康の保持・増進
- ・スポーツ観戦、応援等のスポーツへの関わり方も期待したい

生活や将来へのつながり

- ・地域の活動に参加しようとする気持ちを育む
- ・将来の生活にスポーツを取り入れようとする気持ちを醸成する
- ・生涯にわたり継続してスポーツに関わっていこうとする気持ちを育む
- ・スポーツを生活の中に取り込む態度や意欲の育成
- ・余暇活動のひとつにしたい



※各種目のピクトグラムは本県高等部生徒がデザイン

【青森県特別支援学校スポーツ連盟オンラインスポーツ大会】 R2.9.24



バレーボール(パスラリー)

3人1組で1分間でのラリーの回数を競う
 ・参加校数: 4校
 ・参加チーム数: 5チーム

フライイングディスク

バスケットボール(フリースロー)

ポッチャ(ターゲットマット)

5人1組、1人4投の合計点で競う
 ・参加校数: 9校
 ・参加チーム数: 9チーム

5人1組、1人2本のフリースローの総点で競う
 ・参加校数: 4校
 ・参加チーム数: 5チーム

5人1組、1人2投の合計点で競う
 車椅子・バギー使用部門と立位自力保持部門に分けて対戦
 ・参加校数: 10校
 ・参加チーム数: 10チーム

令和2年度 特別支援学校における障害者スポーツ推進事業（青森県教委）

【成果：児童生徒の変容】

【技術の向上への思い】

- ・スポーツ大会に参加したい
- ・もっとうまくなりたい
- ・サッカー選手になりたい

【コミュニケーション力の向上】

- ・作戦を話し合う
- ・成功を喜び合う
- ・友達を応援する
- ・友達の良さを認め合う
- ・児童生徒間で教え合う

【生活の変化】

学んだことを生活に取り入れる

プレイする

- ・放課後、休み時間、寄宿舎で友達と一緒にスポーツ
- ・休日に家族とスポーツ観戦
- ・動画サイトを見ながら家でもダンス
- ・スポーツ大会に参加がしたい

ささえる

【スポーツへの意識 ・意欲の変化】

それぞれにあった形での体を動かす楽しみ

- ・大勢で運動することの楽しさ
- ・重度の障害でも…体を揺らす、手を動かす...etc

観る 応援する

【自信】

「できた」という感覚
「うまくなった」という感覚...etc

- ・気持ちを伝えることが苦手な児童生徒が…「もっとやりたい」「もっと見たい」など、間近で触れたスポーツに対する自分の思いを言葉にしていた。

【今後に向けて…】

【学校としてできること】

- ・継続して取り組んでいく。
- ・インターネットを活用することで、他の学校の児童生徒や関係機関の方と競い合うなど、校内外を問わず交流する機会をつくる。
- ・応援や観衆の中でプレイすることで、児童生徒の成長が期待できる。
- ・応援や観戦など児童生徒の実態に応じたスポーツとの関わり方を見つけていく。

【地域のスポーツ活動の充実について】

- ・スポーツを通して地域と関わることで、学校と地域とのコミュニティづくりに役立つ。
- ・地域の理解が広がり、新たなスポーツ環境の整備につながることを期待できる。

